

鉢形だより



令和7年9月1日(月)発行 第77号

編集：鉢形地区まちづくり委員会 情報部会

発行：鉢形地区まちづくり委員会

責任者：委員長 椎名 茂樹

住所：鹿嶋市鉢形台3-15-1

TEL：90-3430

FAX：90-3431



鉢形地区夏まつりを開催しました！

大変な猛暑の中、7月26日(土)第37回 鉢形地区夏まつりが開催され約700人にご来場いただきました。今年は初の試みとして、中学生ボランティアによる企画・立案・運営で「たこ焼き・ヨーヨー釣り・お菓子釣り」の模擬店を出していただき大成功となりました。ご協力いただきました皆さん大変お疲れさまでした。



手持ち花火セット
当選おめでとう！



ヨーヨー・お菓子釣り
たくさんとれたかな？



模擬店販売やボランティア
みんな楽しそう～♪



会場警備担当
鉢形消防分団



光るおもちゃ
どれがいい？



鉢形北区のみなさん
担当はからあげ販売！



すごい！スーパーボール
器いっぱい！！



光るアイテムに
浴衣もかわい～♡♡♡



素敵な音色🎵
日本製鉄鹿島吹奏楽部



元気いっぱい🌟
虹サウンド虹kids🎵



真夏の熱～い
音楽ライブKippeï🎵



大迫力！一丸天舞と鉢形
小学校児童のよさこい演舞



たまや～！打上花火
50発！綺麗だね🌟🌟



噴出花火も綺麗でした🌟



やすらぎの道がLEDテープ
で明るくなりました！

募金額は9,627円でした。
茨城新聞文化福祉事業団へと
寄付させていただきます。



夏まつり写真集

掲載しきれなかったその他の
夏まつりの様子や写真は
こちらから

協賛：特殊電極株式会社、神島工業株式会社、東京山川産業株式会社鹿島支店、株式会社宮内製作所、株式会社北星電気、おもちゃのたからや、日鉄テックスエンジニアリング株式会社、溝口鍍金株式会社、青塚電気工事株式会社、加賀屋、とんかつきたき、鹿嶋市交通安全母の会、高砂会、ふる里会、衛星会、板垣 匡春、小山内 昭博、榎本 几久、橘原 昭男、小池 清司、小古井 芳一、村上 大輔、平山 英夫

協力：鹿嶋市立鉢形小学校、株式会社鹿島三友鋼機、特定非営利活動法人だいち、株式会社根本工務店、志筑電気株式会社、鉢形区、内野 正、米川 萬寿美、大野 正則（順不同・敬称略）

平井中学校生徒 企画・立案・運営ボランティア

※8月7日付の茨城新聞に掲載され、同日のFMかしまで放送されました！



「鉢形地区夏まつり」初の試みとして、地域と一緒に盛り上げてくれる平井中学校生徒企画・立案・運営ボランティアを募集しました。今回一緒に夏まつりを盛り上げるために集まってくれた12名の生徒たちの活躍を紹介します！

6月7日（土）に鉢形公民館にて、企画会議を行いました。部長・副部長・書記・会計の役員を決め、部長と副部長を中心に、生徒たちみんなで色々な案を発表し協議した結果、『たこ焼き』『ヨーヨー釣り・お菓子釣り』の2つの模擬店を運営することが決まりました。限られた予算の中で、販売価格や個数の目標を決め、試作や自分の目で材料の価格の確認といったまでに準備を進めればいいのか等、にぎやかに試行錯誤を重ねながら進めていきました。

当日はたくさんのお客さんが購入され、たこ焼き（6個入り200円）90パック、ヨーヨー・お菓子釣り（2回100円）約100個ずつ全て完売しました。ありがとうございました。

★活動した日★

- 6/7 企画会議
- 6/14 市場調査と買い出し
お菓子景品づくり
- 6/21 市場調査と買い出し
たこ焼き試作会
- 6/28 看板づくり
- 7/12 実行委員会出席
各班最終準備
- 7/26 鉢形地区夏まつり運営



部長 田山 陽菜
副部長 飯島 さつき
書記 高柳 あいる
会計 高田 新菜
委員 綾木 唯衣
飯塚 晟歩
大宮 美悠
鬼澤 琥珀
郡司 いち花
小牧 結花
月川 純寧
平石 悠真



地域密着!! 夏まつり開催特別編

中学生にインタビュー!

平井中学校生徒 企画・立案・運営ボランティア



▲左から田山さん・飯島さん・高柳さん・高田さん

平井中学校生徒企画・立案・運営ボランティア（チーム名：かしまっ子祭り）

たやま ひな

部長 田山 陽菜さん

★このボランティアに応募した理由は？

5月に学校で配布された企画・立案・運営ボランティアのチラシを見た同じクラスの友達が、「一緒にやらない？」と誘ってくれたことがきっかけでした。

私は今まで、一度もボランティアを経験したことがなかったので、楽しそうだし「1回はやってみたいな。」と、思い今回のボランティアに応募しました。

★活動してみて何が楽しかった？

「たこ焼き」「ヨーヨー釣り・お菓子釣

り」で分かれることとなり、私はヨーヨー釣り・お菓子釣り班でした。チームみんなでお菓子釣りに使うお菓子を買出しに行ったのですが、いざみんなが散らばって選んでくると、メンバーの中で渋いセンスのお菓子を選んできた人がいて、それがとてもおもしろくて盛り上がりました。他にも、ヨーヨーを釣りあげるこよりの数が足りなくなってしまって、急遽お菓子釣り用の釣り竿に針をつけて、みんなで臨機応変に工夫や対応をして模擬店を楽しく運営しました。

★大変だったことは？

買い出しのときに、想定していた個数と金額が合わず大変でした。でもその中でうまくやりくりが出来たので、物事全体を把握することは、得意かもしれないと自分自身の発見がありました。また、事前に確認するのを忘れ、当日にヨーヨーが膨らまない等、ハプニングが発生してしまい、「準備が間に合わない！」と思いましたが、隣のブースのPTAの方や地域のみなさんが一緒にふくらませる作業などを手伝ってくれたおかげで、無事に準備も終わり本当に助かりました。

後は、決めることが多くて大変だったけど、全員でやりきれた達成感を味わうことができました。

★この体験を今後どう活かしたい？

お客さんに対して、常に笑顔でいることを意識しました。そのほうが来てくれたお客さんも笑顔になって、気持ちがいいなと思ったからです。接客業等これから経験することがあったら、この体験を繋げていきたいです。

★最後に将来の夢は？

コミュニケーションゲームなどの中で、部屋のレイアウトを考えることが好きでよく内装を作ったりするので、将来はインテリアデザイナーになりたいです。今回の部長の経験も活かして、インテリアの企画・立案会議も開けるようなデザイナーになれたら楽しそうでかっこいいと思います。



▲部長として会議を進行している様子